

令和2年度 第1回 広報広聴モニター会議録

日 時 令和2年10月22日(木) 13:30 ~ 14:45
場 所 北2条仮庁舎 3階 庁議室
出席者 市民環境部 岡田部長、井上次長
市民の声をきく課：藤井課長、藤原係長(市民相談係)、高橋係長(広報係)
総合支所市民環境課：佐々木係長(端野)、水野係長(常呂)、佐藤係長(留辺蘂)
モニター：11人中9人出席

1. 市民環境部長あいさつ
2. 自己紹介
3. モニターの役割について・・・ 藤原係長
4. 広聴業務の概要について・・・ 藤原係長
令和元年度・令和2年度の広聴業務受付件数
(1)「陳情・要望」について (2)「市長への手紙」について (3)「市民の声」について
(4)「市長へのポスト」について (5)「市ミントボックス」について
(6)「移動市長室」の開催 (7)「広報・広聴モニター」について
(8)「施設見学会」の開催について (9)意見募集(パブリックコメント)
(10)その他市政相談等
5. 広報業務概要について・・・ 高橋係長
 - (1) 広報紙以外の広報手段
 - ①市ホームページ※ ②SNS(フェイスブック)
 - ③メール配信システム(メール@きたみ) ④コミュニティFM※令和3年4月のリニューアルを予定している
 - (2) 広報紙「広報きたみ」4～10月号について
 - ①広報きたみの構成 黒とマゼンタの2色を使用(人物写真の印刷に向く暖色を使用)。
表紙ー巻頭特集ー読み物ーおしらせー健康相談・日祝日当番医などー催し
もの案内ー読み物 の順を定型としている。
 - ②表紙 過去のモニター会議の意見を踏まえ、市民の表情が見える写真の使用に努めている。
 - ③特集 大きな制度変更や行事についてのお知らせをページ単位または見開き単位で掲載する。
 - ④読み物 市役所からのお知らせ以外にコラムなどを掲載している。市内の人や団体を紹介するページ、北見医師会所属の医師・北見歯科医師団所属の歯科医師によるコラム、直近の行事などの様子を紹介する「まちの話題」。
 - ⑤おしらせ 「自治区のおしらせ」「暮らし」「募集・補助」「講座・催し」「こども」「健康・福祉」「国保」「年金」「官公庁」の順に分類して毎月掲載。縦書き中心の構成。できるだけ専門用語を使わず、簡潔な表現を心掛けている。
 - ⑥健診日程・健康相談など 健康相談の窓口や健診日程、日曜祝日等当番医などを掲載。

- ⑦市民ホール催しもの案内 芸術文化ホールや市民会館、北網圏北見文化センター等の文教施設で行われる催し物について、一覧として掲載している。
- ⑧読み物 北見の歴史あれこれ
- ⑨折込 市担当課が別途印刷したチラシ等を折り込み配布する号がある。また、端野・常呂・留辺蘂自治区では、広報きたみに各自治区の「お知らせ版」を折り込み配布している。
- ⑩配布方法 全自治区で、町内会を通じて各世帯に配布している。
- ⑪コロナ禍の影響 4～9月号について、表紙に「感染症の影響で中止、変更となる場合がある」注意書きを大きく配置した。行事などの模様を紹介する読み物コーナー「まちの話題」を4～7月号にかけて休載、8月号以降は件数を減らして掲載している。行事や事業の中止に伴い、例年の同期間と比べて平均3～4ページほど減っている。

(3) 各自治区版広報の「お知らせ版」概要について・・・ 3自治区担当者より説明

①端野自治区お知らせ版・・・ 佐々木係長

端野自治区に関係するお知らせについて、広報きたみを補完する内容で作成している。表紙(直近の行事や風景等の写真)、端野図書館新刊案内、端野総合支所からのお知らせ、端野自治区内の行事の様子、まるもり通信(端野町時代からの姉妹都市・宮城県丸森町からのコラムを掲載。丸森町の広報紙にも同様のスペースを設け、相互に掲載記事を作成)、図書館の書籍紹介、端野自治区内の慶弔関係と人口動態など。

②常呂自治区お知らせ版・・・ 水野係長

タブロイド判に近いA3縦版で構成。表面上段に地域の話、2段目に総合支所からのお知らせ、3段目に常呂町時代からの姉妹都市・高知県佐川町と岐阜県大野町からのコラムを掲載。常呂自治区からも両町の広報紙にコラムを掲載している。令和2年4月号から、表面のみカラー印刷・裏面はモノクロ印刷で発行している。裏面に自治区内のイベントや保健事業、ごみの収集日などをまとめたカレンダーを掲載。

③留辺蘂自治区お知らせ版・・・ 佐藤係長

A3版を二つ折りにしたA4右開きで、2色刷り。記事が多いときは間にA4版1枚を挟んでA4版6ページの構成とすることがある。1ページ目に表紙として季節ごとの行事風景などの写真を使用しているほか、下部に広報きたみでいう「まちの話題」を掲載している。2ページ以降に総合支所内各課からのお知らせ記事を、最後のページには人口動態や出生などを掲載している。公民館や図書館など社会教育事業関係や警察からのチラシをお知らせ版と合わせて折り込み、配布している。

(4) 意見交換(要約しています)

モニターA：令和2年度の広聴業務で、新型コロナウイルス感染症に関連する市の施策に対してはどういう意見が多いのでしょうか。

市民相談係長：PCR検査に関するものやマスクの関係、学校の休業をフォローするためオンライン授業を実施してはどうか、などのご意見がありました。特別定額給付金やキタポン（飲食店等クーポン）に関するものも多くございました。

市民環境部次長：給付金について「他のまちに比べて遅い。早く支給を開始してほしい」、キタポンについては「使い道が限られており使い勝手が悪い」といった、否定的なニュアンスのものが多数でした。

モニターB：コロナ禍の中で、例年よりも広報を精読する時間がありました。そうしてみてわかったことですが「自分の用事がある市役所の窓口はどこか」ということが広報きたみには書いてあるのですね。しかし普通に読んだだけではわからない。理由はまちきた大通ビル庁舎を表す（ま）や北2条仮庁舎を表す（2）といった記号が赤い色で表示されていて見えにくいからです。

それからもう一つ、電話番号が行間の狭い縦書きで表示されていることも、電話をかけにくくしています。自治区お知らせ版くらい行を空けて電話番号を書いてほしい。

広報係長：記号の色が見えにくいということと、電話番号だけは改行して載せてほしい、ということですね。すぐに次の号からレイアウトを変えるとまではお約束できませんが、1月には庁舎移転という良いきっかけがありますので、モニターの方から変更案などいただければ、それを参考に見やすい表示方法を考えたいと思います。

モニターB：「ここにはお客さんから電話がかかってくる」という電話番号だけでも、太字で表記したら親切だと思います。それから、表紙の下にある「特集」「お知らせ」の文字が細くて読みづらいです。これも太くしたら良いです。特集なのかお知らせなのかという違いは大事ではないでしょうか。

広報係長：記事が特集なのかお知らせなのか、ということよりも、記事の見出しそのものが目につきやすい方が良くと思って編集をしていました。ご意見として賜ります。

モニターC：広報きたみの発行に使用しているこの紙は、理由があって選んでいるものなのでしょうか。

広報係長：印刷業者に確認したところでは、広報きたみの年間の印刷に必要な量を調達できる用紙の中では、これが最安値で調達できるから、という理由です。極端な話、一般的なコピー用紙であればもっと安く刷ることができるのかということ伺っても、こちらの方が安いとのことでした。実際には、コピー用紙では2色印刷への耐性や耐水性が

実用レベルに届かないということもあると思います。

6. 今後の予定について 次回は2月に開催予定。開催案内と合わせてレポート用紙を送り、レポートの提出をお願いします。情勢によっては開催を中止する。